

科学と社会委員会  
ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会（第1回）  
議事要旨

1. 日時：平成29年11月26日（日）12:00～12:30
2. 場所：日本科学未来館7階 コンファレンスルーム海王星
3. 出席者（敬称略）：藤原、石川、渡辺、石井、須藤、阿久津  
欠席者（敬称略）：澁澤  
参考人（敬称略）：苛原稔、村山圭、宮野きぬ  
事務局：糸川参事官、大橋、中山、有江
4. 配布資料：  
資料1 設置要綱・委員名簿  
資料2 「ゲノム編集時代の生殖医療とわたしたち」プログラム  
資料3 提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」
5. 議事：
  - (1) 役員の選出
    - ・互選により、委員長に石川委員が選出された。
    - ・委員長より、副委員長として須藤委員が、幹事として石井委員が指名され、承認された。
  - (2) 提言「我が国の医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方」について
    - ・石川委員長より、委員会の経緯と提言の内容について説明があった。
  - (3) 「ゲノム編集時代の生殖医療とわたしたち」プログラムについて
    - ・石川委員長より、プログラム内容及び進行について説明があった
    - ・一般論で市民に対し話をしても焦点がぼやけてしまうので、全体のテーマとして、「受精卵にゲノム編集技術を用いて、病気のない赤ちゃんを求めべきかどうか」自分にも起こりうるかもしれないというような問題提起をし、これをめぐって登壇者にそれぞれの専門分野から話題提供していただくこととなった。  
上記については、開会あいさつ時スライドを使用して、石川委員長より会場に説明することとなった。
    - ・登壇者の時間配分は10分程度を厳守することとした。
    - ・プレス対応について、専用の席を設ける。プログラム終了後の取材は個々に対応することとなった。
    - ・アゴラの記録作成予定はないが、学術会議で、ゲノム編集について内部資料を作成する為、録音と写真撮影し、またUDトークの記録も保管することとした。
    - ・今回の議事要旨については、委員にメールで確認の上で、委員長に一任された。

以上